

基本指針の目標		施設入所者の地域生活への移行																			
計画 (P) ↓ 実施 (D)	目標値	<p>【令和2年度末までの目標値】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域移行者数の増加：16人 ・施設入所者数の削減：3人 <p>【目標達成に向けた考え方等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対象者の抽出。施設や家族の理解と協力。対象者が地域生活のイメージができるような体験の話を聞ける場、相談を行う。 																			
	実績値	<p>【実績の推移】</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>実績</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>施設入所者の削減</td> <td>2人</td> <td>●人</td> <td>●人</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>実績</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>地域生活移行者の増加</td> <td>2人</td> <td>●人</td> <td>●人</td> </tr> </tbody> </table>				実績	H30	R1	R2	施設入所者の削減	2人	●人	●人	実績	H30	R1	R2	地域生活移行者の増加	2人	●人	●人
	実績	H30	R1	R2																	
	施設入所者の削減	2人	●人	●人																	
実績	H30	R1	R2																		
地域生活移行者の増加	2人	●人	●人																		
	評価 (C)	改善 (A)																			
H30年度	<p>【目標等を踏まえた評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●障害者支援施設職員と意見交換の実施。地域移行希望する人の抽出。 	<p>【R元年度における取組等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●地域移行希望する人の抽出と、個別の相談等。 ●宿泊体験できる場の検討 																			

		○主な活動指標の一覧		
		H30	R1	R2
主な活動指標	訪問系サービス合計	見込	797人/月	●人/月
		実績	1,030人/月	●人/月
	生活介護	見込	485人/月	●人/月
		実績	537人/月	●人/月
	自立訓練（機能訓練・生活訓練）	見込	56人/月	●人/月
		実績	36人/月	●人/月
	就労移行支援	見込	84人/月	●人/月
		実績	59人/月	●人/月
	就労継続支援（A型）	見込	70人/月	●人/月
		実績	66人/月	●人/月
	就労継続支援（B型）	見込	478人/月	●人/月
		実績	517人/月	●人/月
	短期入所	見込	81人/月	●人/月
		実績	78人/月	●人/月
	自立生活援助	見込	3人/月	●人/月
		実績	2人/月	●人/月
	共同生活援助	見込	148人/月	●人/月
		実績	158人/月	●人/月
地域移行支援	見込	4人/月	●人/月	
	実績	1人/月	●人/月	
地域定着支援	見込	4人/月	●人/月	
	実績	0人/月	●人/月	
施設入所支援 ※減少を目指す	見込	149人/月	●人/月	
	実績	141人/月	●人/月	

基本指針の目標		福祉施設から一般就労への移行等				
計画 (P) ↓ 実施 (D)	目標値 実績値	<p>【令和2年度末までの目標値】</p> <ul style="list-style-type: none"> 福祉施設からの一般就労への移行：22人 就労移行支援事業の利用者数：80人 就労移行率3割以上の就労移行支援事業所の割合：5割 就労定着支援事業による支援開始一年後の職場定着率：8割 就労継続支援（B型）事業所における工賃の平均額：15,867円 <p>【目標達成に向けた考え方等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 特に、精神障害者の一般就労が増えており、就労定着のための相談支援。 工賃向上のため、市からの優先調達発注を進める。 <p>【実績の推移】</p>				
		実績		H30	R1	R2
		福祉施設から一般就労への移行		23人	●人	●人
		実績		H30	R1	R2
		就労移行支援事業の利用者数		30人	●人	●人
		実績		H30	R1	R2
		就労移行率3割以上の就労移行支援事業所の割合		2.5割	●割	●割
		実績		H30	R1	R2
		就労定着支援事業による支援開始一年後の職場定着率		—	●割	●割
		実績		H30	R1	R2
就労継続支援（B型）事業所における工賃の平均額		14,266円	●円	●円		
H30年度	評価 (C)		改善 (A)			
	<p>【目標等を踏まえた評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●一般就労者が増加 ●B型の事業所の増加により、内職を行う事業所が増え、全体的に工賃向上はなかなか難しい。 		<p>【R元年度における取組等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●障害者就業・生活支援センターと連携し、市役所内での実習の受け入れ実施。 ●市からの優先調達発注を進める。 			

主な活動指標	○主な活動指標の一覧				
		H30	R1	R2	
	就労移行支援の利用者数	見込	84人/月	●人/月	●人/月
		実績	59人/月	●人/月	●人/月
就労定着支援の利用者数	見込	1人/月	●人/月	●人/月	
	実績	2人/月	●人/月	●人/月	
就労支援事業所等から一般就労への移行者数	見込	—上記目標値実績のとおり—			
	実績				

基本指針の目標		地域生活支援拠点等の整備	
計画 (P) ↓ 実施 (D)	目標	<p>【令和2年度末までの目標】</p> <p>地域生活支援拠点等を面的整備で実施する</p> <p>【目標達成に向けた考え方等】</p> <p>24時間の相談体制、緊急時の受け入れが特に課題。</p>	
	主な 取組み 状況	<p>具体的な取り組み例</p> <ul style="list-style-type: none"> ・24時間の相談、及び緊急時の受け入れ（ショートステイ）について、障害者支援施設を運営している社会福祉法人にヒアリング。 ・翌月のショートステイの空き状況を把握し、毎月相談支援事業所に情報提供。 ・相談支援体制について、相談支援体制のあり方検討会より、「岸和田市相談支援体制のあり方について（報告及び提言）」を受ける。 	
H30年度		評価（C）	改善（A）
		<p>【目標等を踏まえた評価】</p> <p>翌月のショートステイの空き状況の把握。</p>	<p>【R1年度における取組等】</p> <p>相談支援事業所等へのヒアリング</p>

基本指針の目標		精神障がいにも対応した地域包括ケアシステムの構築										
計画 (P) ↓ 実施 (D)	目標値	<p>【令和2年度末までの目標値】 保健・医療・福祉関係者による協議の場：1箇所</p> <p>【目標達成に向けた考え方等】 精神障害者の地域移行部会を活用し、協議の場を行う</p>										
	実績値	<p>【実績の推移】</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>実績</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>市町村ごとの協議の場</td> <td>1箇所</td> <td>●箇所</td> <td>●箇所</td> </tr> </tbody> </table>				実績	H30	R1	R2	市町村ごとの協議の場	1箇所	●箇所
実績	H30	R1	R2									
市町村ごとの協議の場	1箇所	●箇所	●箇所									
H30年度	評価 (C)	<p>【目標等を踏まえた評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●2ヶ月ごと協議を開催した ●精神障害者が地域で暮らすため、テーマを出して、それについて課題を出して話し合うことで、課題の整理できた。 ●関係機関の顔の見える関係づくりが進んだ。 										
	改善 (A)	<p>【R元年度における取組等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●2ヶ月ごとに開催し、毎回テーマ（教育、医療、住まい、社会参加、など）を決めて、テーマごとの課題など話し合う。 										